校長室だより
アイスの子
志布志市コミュニティースクール
志布志市立香月小学校
令和3年2月12日（金） No. 17
香月小ホームページでも御覧いただけます

やれば　できる！

子供たちも　親（家族）も　先生も　自信を持って！

季節は春へと進み，校区のあちらこちらには梅の花が咲きほころび，校庭の木々にはメジロの姿も見られるようになりました。令和２年度もあと１か月あまりを残すのみとなりました。コロナ禍にあっても，子供たちは，日々感染症対策をしっかり行いながら充実した毎日を過ごしています。

ところで，５年生を対象に３学期早々に実施されました「鹿児島学習定着度調査」の結果がでました。全教科において県が目標とする７０％を超えており，また，全教科で県の平均通過率を上回るというたいへん素晴らしい結果でした。

令和2年度鹿児島学習定着度調査結果

	県平均通過率との差
国　語	＋１．２
社　会	＋４．７
算　数	＋４．１
理　科	＋２．８

「やれば　できる！」ということです。学校と家庭と地域がそれぞれの役割をしっかり果たしてきたことが要因です。学校では，学ぶ目的を明確にし**「学びの姿勢」**を培ってきました。また，学年の中での「そろえる教育」を大事にして，**チーム力の向上**に努めてきました。各家庭におきましては，「**朝ご飯をしっかり食べさせること**」「**早寝に心がけ睡眠時間をしっかり確保する**こと」「**家庭での学習を大事にする**こと」「**ＰＴＡへの積極的な参加**」等にご協力いただいてきました。また，地域の皆様方には**学校運営協議会（ＣＳ香月），見守り隊**等でご支援いただいてきました。そうした多くの方々の支えによる**「総合力」が「確かな学力」に結びつく**のだと考えています。今後，次の学年へもつないでいけるようご協力をお願いいたします。

「すなおな子」になるために！

２月の寒さの中にあっても，校内の植物は着実に生長し，暖かい春をじっと待ち続けています。寒さに負けず頑張っている香月小の子供たちのようです。今朝の全校朝会で，学校教育目標（「『強く　正しく　素直な子』を育成する」）の３つめの柱である「素直な子」について子供たちと考えました。「素直な子のよさは何ですか？」との問いに，「信じられることです。」「人に優しくできることです。」「まちがえても直すことができることです。」など，子供たちが挙手して答えてくれました。要点を次のようにまとめます。学校と家庭と地域が，共通の認識で素直な子供を育てていきたいものです。

本田先生が丹精込めて育てている花々

どんな子供？

★　知識が豊富（スポンジの心）
★　寛容になれる（思いやりのある子）
★　物事のありのままが見える（柔軟な感性）
★　人の言うことに耳を傾けることができる
★　穏やかな姿を保つことができる
★　全てに学ぶ心が育つ
「我以外皆師（われいがい　みな　し）」

素直な子

どうすればいい？

◎　親や先生の言葉をしっかり受け止めて実行する
◎　本を読んでいろいろな世界を体験する
◎　周りの人を大切にする
◎　「はい」と返事できる